

Sクリートガード経年経過



Sクリートガード塗布 未塗布

千葉県和田浦の海に近い、築 30 年の建物で、約 7 年前にコンクリートの風合いの維持・クラック防止も含めて、コンクリート改質材（Sクリートアップ）を塗布、その上に汚泥防止効果・撥水効果の経年経過を確認する為、半面のみにSクリートガードを塗布した。2年前にも経過観察を行い、その際、水玉の撥水が確認されたが今回は確認できなかった。しかし、素地が濡れ色になっていないことから、撥水効果がいまだに継続している事が確認できる。

Sクリートガードは分子がナノ単位の為、コンクリート内部に遮水層を形成し、凍結融解から守ります。また、白華・カビ・汚れを防ぎ、長期の撥水効果が得られます。